

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
	地域活性化措置		図書館維持運営事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			勝山市	
補助事業実施場所	勝山市立図書館(勝山市昭和町1丁目)			
補助事業の概要	市立図書館維持運営費(人件費9名分)に補助金を充当し、健全なる図書館環境の維持運営を行います。			
総事業費(円)	23,913,300	補助金充当額(円)	15,000,000	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分		
補助金事業の成果目標	勝山市では、市立図書館を市民の学びの場や情報提供の拠点と位置付け、市民・学校・他の行政機関に対して図書資料や情報を提供していきます。さらに、図書館の通常業務はもちろんのこと、他自治体との合同読書大会、子供への絵本の読み聞かせ講座や夏休みお助けコーナーとしての標本の名前調べ会、ブックスタート事業(平成27年10月開始)、学校図書館支援事業(平成27年4月開始)など、多彩な事業・行事を通じ、市民の教育と文化の発展に寄与するため、健全なる図書館環境の管理運営を図ります。			
補助金事業の成果指標	本交付金事業を活用し、図書館環境の向上を図り、工夫を凝らした企画コーナーや講座等の多彩な行事を実施することにより、「市民1,000人当たりの市立図書館への年間入館回数」(第5次勝山市総合計画政策基本目標)を3,570回以上とします。			
補助事業の成果および評価	利用者の利便に供するため、図書館環境の向上を図りました。毎月工夫を凝らした企画コーナーを設置し、講座等の多彩な行事を行い、多くの参加者を集めることができました。また、公共図書館として本事業にて適切な運営を行うことにより、地域住民に対して知識と情報の提供が可能となり、市民の教育と文化の発展・向上に寄与することができました。 第5次勝山市総合計画政策基本目標において設定している「市民1,000人当たりの市立図書館への年間入館回数」については、平成28年度は3,632回であり、目標の3,570回を達成しました。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無			特になし	
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特になし	

- (備考)
- (1) 事業ごとに作成すること。
 - (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
 - (3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
 - (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
 - (5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
 - (6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。

II. 事業評価個票

番号	措置名		補助事業名	
	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置		農業用水路修繕事業	
補助事業者名または間接補助金事業者名			勝山市	
補助事業実施場所	勝山市大渡・若猪野・岡横江地係			
補助事業の概要	老朽化した農業用水路の修繕 施工延長L=1,410m、目地補修工(充填工)N=71箇所、水路浚渫工V=185㎡、仮設工N=1.0式			
総事業費(円)	4,568,400	補助金充当額(円)	4,213,000	
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分	4,213,000	
補助金事業の成果目標	昭和33年の壁倉発電所の建設により、九頭竜川に依存していた農業用水の安定確保の為設置された本用水は、工事施工から50余年が経過し、水路の老朽化により漏水が著しく、下流の農業用水に不足をきてしている状況です。 本補助金を活用し、水路を修繕することにより目地部からの漏水を防ぎ、吸出しによる水路法面崩壊の防止や、下流の農業用水への安定した水量供給など、低下した水路機能の回復を行う。			
補助金事業の成果指標	老朽化した農業用水路の目地部を補修し、地域住民による農業経営の安全性・効率性を高めるとともに、地域の田園景観の保全につなげます。			
補助事業の成果および評価	老朽化した農業用水路の目地部71箇所の補修を行うことにより用水の漏水を防ぎ、下流水への安定した水量供給など水路機能の回復を行いました。あわせて、水路内に堆積した土砂等を浚渫し、流況の安定と取水時の安全を確保しました。これにより、地域住民による農業経営の安定と田園景観の保全に寄与することができました。			
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額(円)
	請負	条件付き一般競争入札	有限会社 前川組	4,568,400
成果および評価に係る第三者機関の活用の有無				
			特になし	
補助事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			特になし	

- (備考) (1) 事業ごとに作成すること。
(2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
(3) 補助事業の成果および評価の欄には、進捗度、利用量ならびに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。
(4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
(5) 成果および評価に係る第三者機関を活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称および構成員等を記載すること。
(6) 本事業に来年度以降も補助金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、来年度以降の本事業の見通し等について記載すること。